

# 足寄町高齢者等複合施設

■所在地	北海道足寄郡足寄町北2条4丁目	■木材使用量	310m <sup>3</sup>	うち地域材	253m <sup>3</sup>
■設置者	足寄町	■使用樹種			
■構造	木造平屋建	構造	カラマツ、エゾマツ、トドマツ		
■延床面積	958m <sup>2</sup>	内外装	カラマツ		



## ◆施設の概要

足寄町役場北側隣地に設定された、公営住宅と一体的に整備する〈高齢者福祉拠点ゾーン〉の中核となる施設で、内容は〈小規模多機能〉〈ショートステイ〉となっており、翌年度建設予定の〈グループホーム〉〈高齢者長屋〉の諸機能が空間的に一体化することで、相互に機能補完するとともに、入居者のみならず、高齢者の在宅居住を様々なかたちで支援する拠点施設として運用します。介護と福祉の連携がより充実した足寄町独自の取組みとして展開することが期待されています。

建物は平屋建で、地域材であるカラマツ集成材を利用し、垂木梁といった特徴的な構造が表現された室内空間となっています。木の温もりを生かし、中庭やトップライトから光が射し込む、明るく優しい空間となっています。

## ◆工法等の特徴

構造材には足寄町産カラマツ集成材を使用し、ホール部分には中断面集成材を利用した「フレーム工法」を採用し、屋根構造の垂木梁を天井面に表わすことにより、木のぬくもりが部屋全体に伝わる室内空間となっています。

## ◆整備に当たり苦慮したこと

ホール部分のフレーム工法による垂木梁と屋根下地の表しについて屋根断熱（ウレタン吹付工法）が屋外側からの施工となったため、時期や天候に留意しながら行いました。

また、建設コスト削減を図り建築高さを抑えたため、天井懐が狭隘となり換気ダクト類の配管に苦労しました。

## ◆利用者の声

木サッシの開閉が固いことなど、木の反りによる建具の調整が必要になる場合もありますが、内装材に木材が多く使われているので、木のぬくもりや香りが心地よく感じるなどの声が寄せられています。